



報道関係者 各位

令和6年10月10日
(照会先)
全国健康保険協会栃木支部
企画総務グループ
電話:028-616-1692

2023年度 協会けんぽ栃木支部スコアリングレポート 発表 ～栃木支部の加入者はメタボ該当者が多く「腹囲・脂質」のリスクが特に高い～

全国健康保険協会(協会けんぽ)において、2023年度の支部別スコアリングレポート※を作成しました。栃木支部は全32項目のうちAランク(47支部中10位以内)が3項目、Bランク(11～37位)が26項目、Cランク(38位以下)が3項目となっております。

Bランクがほとんどを占めていますが、全体のうち17項目が全国平均以下となっていることから、栃木支部の加入者においては、多くの健康課題があることがわかりました。

※スコアリングレポートとは、協会けんぽ都道府県支部ごとの健診受診率・特定保健指導実施率に加え、男女別の健診結果及び問診結果の年齢調整平均値、医療費をレーダーチャートやグラフにより「見える化」し、支部の全国順位と健康課題を把握できるようにした資料です。

栃木支部スコアリングレポートから見える特徴および課題

I. 健診受診率・特定保健指導実施率 (スコアリングレポート P2)

●概要

「生活習慣病予防健診受診率」「健診受診率(被保険者計)」がAランクとなっており、受診率もかなり高くなっている。全ての項目で全国平均を上回っているが、2022年度と比較して割合がやや減少している項目もある。

●課題

被保険者と比較して被扶養者の健診受診率が低い。



Ⅱ. 生活習慣病リスク保有者の割合（スコアリングレポート P8、P12）

●概要

男性は「腹囲リスク」、女性は「脂質リスク」が全項目の中で一番高くなっている。

また、男女ともに「代謝（血糖）リスク保有者の割合」以外の全てが全国平均より悪い状態。

男性の腹囲リスクと血圧リスクの保有者は半数以上となっている。

男性のリスク保有割合は女性の2倍以上 ※血圧・脂質は除く。

●課題

メタボリスク及びメタボ予備群の割合が全国に比べ高い。腹囲・脂質リスク保有者が多いのが要因の1つ。

Ⅲ. 生活習慣要改善者の割合（スコアリングレポート P16、P20）

●概要

男女ともに「喫煙習慣のある者の割合」が高い（悪い傾向）。「睡眠で休養が取れていない者の割合」は男女ともに低く、特に女性は低い（良い傾向）。

また、男女ともに「運動習慣要改善者の割合」が60%以上となっており、特に女性の割合が高くなっている。

●課題

男女ともに喫煙習慣がある者の割合が全国に比べ高い。



協会けんぽ 栃木支部からのお願い

- 生活習慣病の予防や病気の早期発見・治療のために、お勤めの方だけではなく、ご家族の方も毎年健診を受診してください。
- 労働安全衛生法に基づく定期健診を実施されている事業所様は、協会けんぽ加入者(40歳以上)の健診結果を提供してください。
- 健診の結果、特定保健指導対象者と判断された方は、メタボリックシンドローム等の生活習慣病を予防するためにも、特定保健指導を利用してください。
- 定期的に生活習慣の見直しと改善を行ってください。
- 健診の結果、要治療者に該当した場合は、速やかに医療機関を受診してください。

高血圧や脂質異常症などの生活習慣病と呼ばれる疾患は、初めは症状のないものがほとんどです。血糖値や脂質値が高いまま放置しておくと、生活習慣病の重症化に繋がるため、早期発見・対処が大切となります。

【添付書類】

・2023年度支部別スコアリングレポート 《栃木支部》

《参考》

全国健康保険協会(協会けんぽ)は、健康保険法に基づいて設立され、国民の3人に1人、約4,000万人の加入者と、約269万事業所からなる日本最大の公的医療保険の保険者であり、主に、中小企業で働く方とその家族の皆さまが加入しています。その中で、栃木支部には栃木県内約3.5万事業所、約52万人の方が加入しています。(令和6年5月現在)